

「小学館文芸 WEB マガジン『STORY BOX』」 × 「アート×ビジネス共創拠点『器』」 短編小説バナーイラストコンテスト（第2回）受賞作品の決定

京都市では、芸術関係者と企業等との交流やマッチングや接点を探る「京都市アート×ビジネス推進事業」に取り組んでいます。

この度、小学館文芸 WEB マガジン「STORY BOX」、アートビジネス共創拠点「器」の入居企業である有限会社 BESTPLAY、株式会社 IDEABLEWORKS とともに実施した小説家・赤神諒氏による短編小説「七分咲き」バナーイラストコンテスト（第2回）の受賞作品が決定しました。

1 第2回受賞作品について

「七分咲き（後編）」のあらすじからイメージしたバナーイラストを若手芸術家等から募集し、以下の3作品を受賞作として決定しました。

(1) 受賞作品 ＜大賞＞



作家名：ぼ

＜erumina（エルミナ）賞＞



作家名：蘭香津美（あららぎ かづみ）

＜HACKK TAG（ハックタグ）賞＞



作家名：渡邊帆南美（わたなべ ほなみ）

(2) 作品の発表・展示

ア 大賞作品

小学館文芸 WEB マガジン「STORY BOX (<https://shosetsu-maru.com/storybox>)」7月号の誌上にバナーイラストとして掲載。イラスト掲載料が小学館から支払われます。

イ 各賞受賞作品

・アート×ビジネス共創拠点「器」の note (https://note.com/kyoto_utsuwa2023/)での作品及びインタビュー記事の掲載

・丸善京都本店（地下1階）にて、株式会社 IDEABLEWORKS が提供する 2.5GALLERY（デジタル額縁）による展示

展示期間：令和6年6月10日（月）～7月10日（水）（予定）

・小学館文芸編集部の小説ポータルサイト「小説丸」での作品紹介

2 主催等

主催 小学館文芸編集部、京都市

協力 erumina（有限会社 BESTPLAY）、HACKK TAG（株式会社 IDEABLE WORKS）、丸善京都本店

運営 アート×ビジネス共創拠点「器」

3 今後の展開

「器」が伴走してきた第1回、第2回の取組を通して、赤神諒氏と小学館文芸 WEB マガジン「STORY BOX」、株式会社 IDEABLEWORKS による「アート×ビジネス」の共創が成立し、今後は今秋発売予定の連作短編集に向け3者で「小説とアートのコラボレーション」のあり方を広げる新しい展開を試みます。

4 問合せ先

公益財団法人京都市芸術文化協会 (<https://utsuwa-kyoto.com/>)

TEL：075-213-1000 メールアドレス：utsuwa@kac.or.jp

<参考1>赤神 諒（あかがみ りょう）氏

1972年京都府生まれ。上智大学教授、弁護士。2017年『大友二階崩れ』（「義と愛と」改題）で第9回日経小説大賞を受賞しデビュー。23年『はぐれ鴉』で第25回大藪春彦賞を受賞。近著に『仁王の本願』『友よ』『闇』『火山に馳す 浅間大変秘抄』『佐渡絢爛』などがある。

<参考2>アート×ビジネス共創拠点（愛称：器（うつわ））について

京都芸術センターの施設の一部をスタートアップやソーシャルビジネスなどの企業向けオフィスとして貸し出し、芸術センターの利用者等との交流機会の提供や、アート×ビジネスのマッチングを目的としたセミナー、ワークショップ等を実施している。

<参考3>小学館文芸WEBマガジン「STORY BOX」

「面白いエンタメ小説を届けたい」という思いから2009年8月に創刊した文芸誌。2023年8月にWEBマガジンとしてリニューアルし、豪華執筆陣による、今までにないテーマや切り口、既存の枠にはとられない物語を多数掲載している。

<参考4>erumina（有限会社BESTPLAY）

クリエイターの創作意欲に火を付けるメディア「erumina（エルミナ）」を運営する。クリエイターの想い、価値観、表現へ探求、活動する環境をより多くのファンの方々へ様々な視点で提供している。erumina登録クリエイターが使用できるコミュニティサロンを京都芸術センター内で運営する。

<参考5>HACKK TAG（株式会社IDEABLE WORKS）

アートと社会がより良く結びつき、アーティストが価値を提供し続けられる社会インフラとなることを目指すスタートアップ企業。オンラインとオフラインを融合したギャラリープラットフォーム「HACKK TAG（ハックタグ）」では、アーティストの創作活動をもっと自在にするためのWEBサービスや、デジタル額縁を活用した配信型のギャラリーサービスを提供する。